

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	21-035	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Analysis of factors affecting alcohol and tobacco concurrent use by bivariate probit model in Turkey. トルコにおける二変量プロビットモデルを用いた飲酒と喫煙双方に影響する因子の分析		
執筆者		
Alkan Ö, Abar H, Gençer Ö.		
掲載誌		
Environ Sci Pollut Res Int. 2021 Jun;28(23):30168-30175. doi: 10.1007/s11356-021-12849-2.		
キーワード		PMID
アルコール摂取, 二変量プロビット, 喫煙, 調査, タバコ使用, トルコ		33586099
要 旨		
<p>背景: 飲酒と喫煙は互いに関連しあうリスク因子である。多量飲酒と喫煙は社会経済学的なコスト上昇に関連する公衆衛生学的な重大な課題であり、予防可能な死亡や罹患の主要な原因の一つである。本研究の目的は、タバコとアルコールの同時使用に関連する社会経済学的因子の特定にある。</p> <p>方法: トルコ在住の15歳以上の対象において、タバコとアルコールの同時使用に関連する因子を特定するため、二変量プロビットモデルを用いた。本研究では、2010年、2012年、2014年、2016年に Turkish Statistical Institute が実施したトルコの全国調査である Turkey Health Survey のデータを使用した（層化二段抽出による対象選択）。</p> <p>結果: 77,327名から回答を得た。飲酒と喫煙同時使用に関係がある因子として、年齢、性別、教育歴、婚姻歴、世帯月收入、調査年が特定された。心理社会的支援は喫煙のみで関連がみられた。</p> <p>結論: 本研究は、トルコのサンプルを用いて、アルコール使用とタバコ使用の両方を同時に比較した初めての研究である。本研究の結果は、予防政策を支援するために、依存性のあるアルコールとタバコの使用習慣の関係をよりよく理解するための助けとなるほか、政策立案者が、長期的な健康生活と経済的利益を達成するために、両物質の使用を減らすための介入計画を策定するのに役立つと思われる。</p>		